

おしらせ

橋北地区市民センター
TEL 331-3787
FAX 330-0220

平成 29年 3月 5日

No. 23

橋北「おとなの小学校」 文化祭

みなさん お誘いあわせの上
お越してください！多数のご来
場を お待ちしております。

日時 3月11日(土) 10:00~12:30
場所 橋北交流会館(旧東橋北小学校)
1階 地域活動室(旧コミュニティ室)

橋北「おとなの小学校」 卒業記念コンサート

日時 3月19日(日) 10:00~
場所 ほんこの里会館



女性と防災

定員30名・申し込み順

女性による女性のための防災減災教室

『イザという時のための、勉強会』

とき:平成29年3月14日(火) 午前10時~12時

ところ:橋北地区市民センター 2階 会議室

講師:県地区女性防災クローバー リーダー寺本 恭子さん

※お申込み

お問い合わせは、
橋北地区市民センター
地域マネージャー
中野まで。

TEL 331-3787

海蔵川の水位が上がります！



農業用水取水のため、海蔵川河口堰が閉
まりますので、(新開橋~末広橋) 8月
末頃まで海蔵川の水位が高くなります。
危険ですので十分にご注意ください。

橋北小学校給食パートを募集(4月上旬からの勤務です)

- ◇募集職種・・・小学校給食調理員補助(給食パート) 1名
- ◇業務内容・・・給食調理、運搬、後片付け、調理場清掃など
- ◇勤務日・・・給食実施日(春・夏・冬休みは勤務なし)
- ◇勤務時間・・・午前8時30分~午後3時15分(労働時間6時間)
- ◇時間給・・・891円(通勤距離が片道2km以上の場合、通勤費を別途支給)
- ◇申し込み・・・応募を希望される方は教育総務課(Tel 354-8236)に電話
のうえで履歴書を提出して下さい。書類選考の上、合格者に対し
て面接を実施します。
- ◇応募期間・・・3月6日(月)~3月13日(月)



慈善橋の由来がわかる案内看板を設置しました！

もともと仮橋であった三滝橋は明治10年に本格的板造りの橋に改造されました。しかし、下流地域の浜一色の人々は、まだまだ不便で困っていました。その後、橋北地区の開発が進むにつれ、車馬の通行も可能な橋を望む声が大きくなってきました。そんな要望に応えるために天聖院第8代林道永通昌禅師は、架設の費用を得るため朝早くから夜遅くまで托鉢をして、喜捨を仰ぎ、篤志家の寄進を受け、その上、浜一色の住民の協力と共に架橋に力を尽しました。

かくして、明治23年6月、朝明郡長に「橋梁架設願」を提出し、並々ならぬ苦労の後、完成しました。翌年明治24年10月に地区住民は道永禅師の慈悲深い心を偲び、尊いその苦労と感謝をこめて「慈善橋」と名付けました。

昭和20年6月18日の四日市大空襲により、橋の両端（土台）を残し焼け落ちました。焼失後、簡易橋、板土橋の利用でした。その後、昭和41年上流100mの金場新正線（三滝通り）路上に鉄筋コンクリート造りの慈善橋の架設となりました。



春は引越のシーズンです

平成29年3月26日（日）

四日市市と近隣市町（桑名市、いなべ市、鈴鹿市、亀山市、東員町、菟野町、津市、松阪市）の7市2町で

日曜窓口を開設します

◎ 四日市市役所の開設場所と内容

階	窓口	取扱業務
1階	市民課 ☎354-8152	転入・転出などの手続き（継続転入・転出は除く）、戸籍の届け出 住民票の写し（広域交付住民票は除く）・戸籍の証明書の交付、 印鑑登録・証明書の交付、各種税証明の交付
	こども保健福祉課 ☎354-8083	児童手当、子ども医療費助成の手続き
2階	市民税課 ☎354-8133	原動機付自転車・小型特殊自動車の廃車・名義変更など （四日市市発行のナンバープレートのみ）
3階	保険年金課 ☎354-8159 354-8161	国民健康保険・後期高齢者医療・国民年金の手続き
	介護・高齢福祉課 ☎354-8427 354-8190	要介護認定申請の受付、介護保険料の相談・収納など
9階	学校教育課 ☎354-8250	市立小・中学校の転校、新入学手続きなど

※外国人市民向けの生活オリエンテーション（生活情報案内）も本庁1階ロビーに開設します（10:00～12:00、13:00～15:00）。

※各階とも、開設時間は8時30分～17時15分です。

※地区市民センターは開設していませんのでご注意ください。

四日市市役所



あすなろう鉄道 まんじゅう列車を運行します！



『東海道中膝栗毛』の主人公「弥次さん」が日永でまんじゅうの食べ比べをしたことにちなみ、四日市あすなろう鉄道線で、まんじゅう列車を運行します。対象ダイヤのあすなろう鉄道に乗って日永郷土資料館へお越しいただいた人にまんじゅうを配布します。沿線の東海道散策にもよい季節となりますので、ぜひお立ち寄りください。

※対象ダイヤは市のホームページでご確認ください。

☆日時

3月18日（土曜日）

9：30～15：00

（まんじゅう配布時間）



☆内容

- ①四日市あすなろう鉄道に乗車
- ②車内で呈茶券をもらう
（西日野駅のみ駅で配布）
- ③日永郷土資料館でまんじゅうをゲット！
（資料館ではクイズに答えて景品もゲット！）

☆注意事項

まんじゅうは先着順500名までです。

☆お問い合わせ

都市計画課公共交通推進室

TEL：354-8095

FAX：354-8404



四日市市議会 議会報告会のお知らせ



2月定例月議会の議会報告会を、3月28日、29日に開催します。常任委員会ごとに分かれて4会場で開催します(詳細は下記参照)。定例月議会でもどのような議論がされたのかを、議員が直接、市民の皆さんにお伝えします。報告会の後にシティ・ミーティング(意見交換会)を開催します。市内に在住または通勤・通学する人を対象とし、事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

第1部：議会報告会 第2部：シティ・ミーティング(意見交換会)

月日	平成29年3月28日(火)		平成29年3月29日(水)	
時間	18:30～20:45		18:30～20:45	
常任委員会	教育民生	産業生活	総務	都市・環境
所管事項	教育、子ども、健康福祉など	商工業、農林水産業、市民文化、市立病院など	市政の企画、財務、危機管理、消防など	道路、住宅、上下水道、区画整理、環境衛生など
シティ・ミーティングテーマ	○教育行政全般について	○商工業の振興について	○防災全般について	○運転免許自主返納と高齢社会における公共交通のあり方について
会場	あさけプラザ 2階第4・5会議室	橋北交流会館 3階第6会議室	総合会館 7階第1研修室	塩浜地区市民センター 2階大会議室

※天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※全会場、手話通訳いたします。

※進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性もありますので、あらかじめご了承ください

※総務常任委員会(総合会館)に、参加ご希望で、お車でお越しになる方は、市営駐車場に駐車してください

お問い合わせ

四日市市議会事務局

議事課

電話：354-8340



自動車文庫



3月24日(金) 橋北地区市民センター 10:00~10:40

滝川公園 10:50~11:20



おすすめセンター図書 その3



橋北地区の皆さん、こんにちは。今年は暖冬・・・と書いていたら1月にすごい積雪がありましたね。春はすぐそこですが、まだまだ寒い日が続きます。お風邪などひかれませんようにお気をつけください。

さて、おすすめセンター図書の第三弾は・・・

「幼年期の終わり」

アーサー・C・クラーク著

SF三大巨匠のひとり、アーサー・C・クラーク氏による人類と異星人の遭遇を描いた、氏の傑作の一つです。

皆さんはSF小説、と聞いてどんな印象を持たれますか？ハリウッド映画では「スター・ウォーズ」シリーズや、「アベンジャーズ」、「スパイダーマン」といったアメコミ作品など、数々のSF作品が日本でもヒットしていますが、SF小説となると読まない、という人も多いのではないのでしょうか。

早川書房によるSF作品のここ数年の年間ベスト作品をインターネットで調べてみても、誰もが知っているような作品は有川浩さんの「図書館戦争」や「空の中」高野和明さんの「ジェノサイド」、森美登美彦さんの「四畳半神話体系」といくつか並んでいるものの、あまり一般的には「SF作品」としては捉えられていなさそうな気がします（※「図書館戦争」、「ジェノサイド」はセンター蔵書）。

今回おすすめする「幼年期の終わり」は、普段SF小説になじみのない方にも一度読んでいただきたい作品です。ストーリーは地球人が高度な知性を持つ地球外生命体とコンタクトする「遭遇もの」。映画などでは時に地球に攻撃的な存在として描かれることも多いですが、この作品において異星人「オーバーロード」は地球人類をより高みへ導こうとする存在として現れます。（以下あらすじ）。

突如、世界各国の上空に巨大な円盤が現れ動かなくなった。やがて円盤より人類に対し、人類の行いの愚かさをあらためるよう伝えるメッセージが発せられ、彼らの知性と科学力に圧倒された人類は犯罪や戦争のないユートピアの実現を達成する。しかしその理想郷の実現は「オーバーロード」たちの真の目的を果たすための、ほんの手始めにしか過ぎなかった・・・。

人類のさらなる「進化」をテーマとしたこの作品のラストは、衝撃的で、かつ何とも言えない郷愁を感じさせるものとなっています。SF作品を超えた読後感を与えてくれるこの作品、「SFは好きじゃないよ」という人も一度手に取ってみてください。



